

## 鼻の疾患

### 急性鼻炎

鼻腔の粘膜に、さまざまな原因で炎症が生じたものを鼻炎といますが、そのなかで急激な経過をとるものを急性鼻炎といます。いわゆる鼻かぜですが、大部分がかぜのウイルスによって引き起こされます。

### 急性副鼻腔炎

汚い鼻水が出て発熱し、頬部や歯が痛くなります。鼻には副鼻腔という空洞がいくつかあります。この副鼻腔は空気を肺に送り込む前に加湿したり浄化したりする役割がありますが、鼻の急激な炎症が起こるとその役割を果たせず、空洞内に膿が溜まってしまい、急性副鼻腔炎の状態となります。慢性化すると治療が長期必要となるので慢性化させないような治療が必要です。

### 慢性副鼻腔炎

鼻がよく詰まる、鼻の辺りが重い感じ、頭重感などさまざまな症状が出ます。慢性的に副鼻腔の炎症が継続している状態であり、慢性的な刺激により副鼻腔にポリープなどができます。ポリープが大きくなれば鼻が詰まってしまい、日常生活に支障をきたしてしまいます。適切な治療（鼻の処置・ネブライザー・内服治療など）により改善することが多いですが、重症例では治療しても効果がないこともあり、この場合は手術療法を要することもあります。

## 鼻茸症

副鼻腔粘膜または鼻腔粘膜から生じる炎症性増殖性の腫瘤です。鼻茸の発症の原因は単一なものではなく、種々の因子が関与しているものと考えられています。副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、気管支喘息の症例での合併が多いため、感染とアレルギーが原因として考えられます。

## 外傷性鼓膜穿孔

鼓膜に機械的刺激（みみかき、綿棒など）が加わった結果、鼓膜に傷がついて穴が開き、出血、難聴、耳鳴りなどが起きます。多くは自然に鼓膜は閉鎖し症状が軽快しますが、まれに耳小骨連鎖の離断などが起きていると鼓膜が閉鎖しても難聴は治らず、将来的に手術が必要になってきます。

## アレルギー性鼻炎

アレルギー性鼻炎は、ダニ、ハウスダスト、花粉などの吸入性アレルゲンの吸入により起こる鼻粘膜系のアレルギー性疾患のことをいいます。連続するくしゃみや水性の鼻水、鼻づまりなどの症状がみられます。通年性と季節性に分けられます。

## 突発性鼻出血

鼻血が出る場所は、ほとんどが鼻の入り口の内側（キーゼルバッハ部位）からです。鼻を強くかんだり、いじったりする刺激で粘膜から出血します。止血方法は、綿球、ティッシュなどを鼻に入れ、指で強く押さえます。上を向くと血を飲み込んでしまうので、下を向いて、口に流れた血は全て吐き出してください。30分たってもとまらないようなら耳鼻咽喉科を受診し、止血をしてもらってください。

小児の鼻出血の多くはアレルギーを伴い、成人の鼻出血の多くは高血圧に伴うことが多いようです。大切なことは病院では止血はできますが、予防的に鼻出血を止めることは出来ません。アレルギーや血圧のコントロールが鼻出血の予防につながります。

## 副鼻腔腫瘍

鼻腔内に腫瘍があり、腫瘍の一部より出血すると鼻血の症状が出現します。腫瘍からの出血の場合は、腫瘍の状態にもよりますが止血が困難な場合もあります。止血するためには、腫瘍の状態を把握して腫瘍に対する治療が必要になります。当院でのCT検査で鼻腔内の状態を把握することが可能です。

## 鼻前庭湿疹

鼻の孔の皮膚部分に慢性的な刺激が加わったときに皮膚部分が炎症を起こした状態です。アレルギー疾患がある人はなりやすい病気です。まずは『鼻を触らない』ことが重要です。補助的に軟膏や内服薬などを用いて症状を抑えていきます。

## 鼻せつ

鼻の毛を抜いた後や痒みなどで鼻を触りすぎた後に鼻の毛の毛包部分に細菌感染した状態です。鼻の入り口や鼻翼部が赤くなったり腫れたりします。その部位に強い痛みを感じます。抗生物質の入った軟膏を同部位に塗布して治療します。場合によっては内服薬を使用する場合もあります。

## 鼻中隔湾曲症

鼻の真中の仕切りが曲がった状態です。誰でも成長の過程で曲がってくるのですが、その程度が極端だと鼻づまりの原因となります。薬などでは治らないため、症状の改善のためには手術を行うこととなります。

## 嗅覚障害

鼻の一番奥（脳のすぐ下）にある、においを感知する神経（嗅神経）の障害で起こります。多くは神経の場所まで、においの分子がたどり着けないために起こります。副鼻腔炎でポリープがあったり、鼻炎で鼻の粘膜が腫れていたりする場合があります。

また、においの神経は細いので頭を強くぶついたり、風邪を引いたりすることによっても起こります。早期に治療する程、改善しやすいので、なるべく早く耳鼻咽喉科を受診してください。鼻の内視鏡検査と、注射によるにおいの検査を行います。治療は、ステロイド剤の点鼻治療が有効です。

## 鼻骨骨折

鼻は上2分の1を鼻骨、下2分の1を軟骨で形を保っています。鼻骨は左右の骨が切妻屋根のようになっています。鼻に外傷が加わると、屋根が崩れるように変形します。受傷直後に鼻出血、皮下出血、鼻の変形がみられ、間もなく鼻の付け根部分がはれます。受傷により鼻づまりが出たり、美容的に問題がある場合は整復術を行うことがあります。